

結婚・出産・子育て・定住・移住に関する 意識調査集計結果報告書（概要版）

1 調査概要

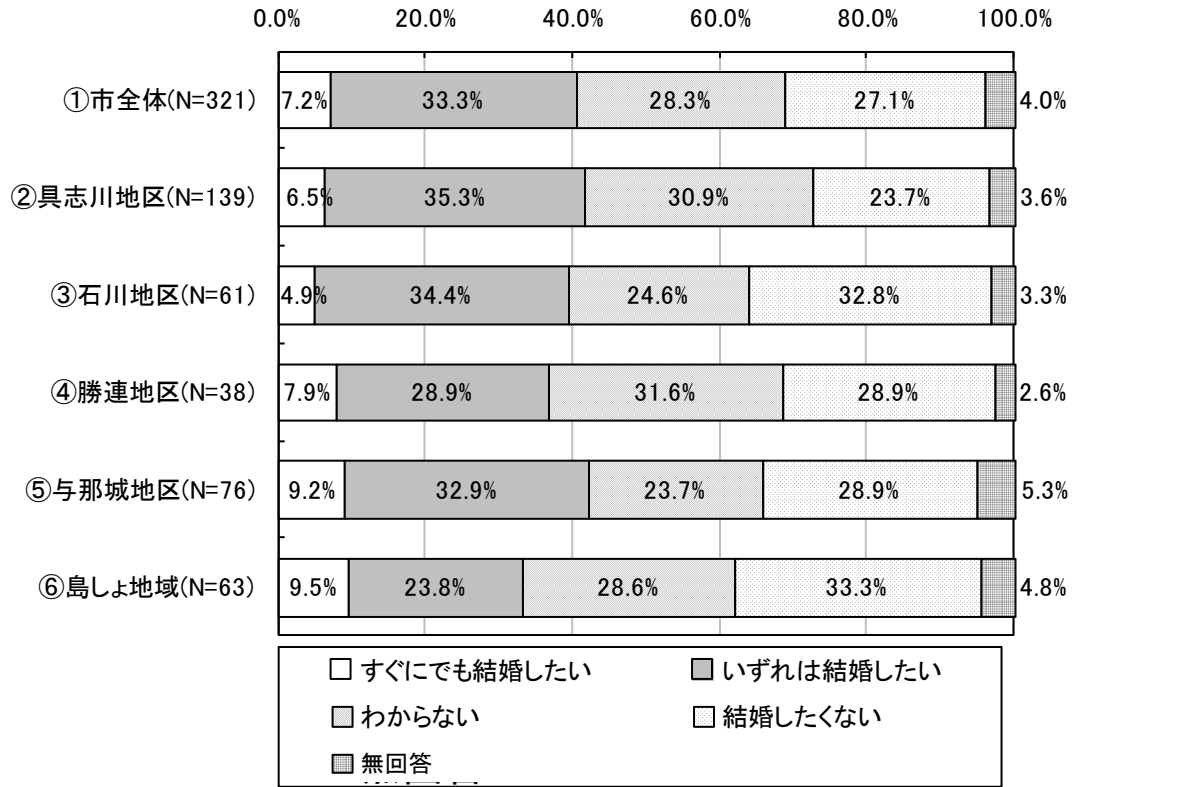
- ・「うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、本市の将来人口に影響を及ぼす要因等を把握するため、結婚・出産・子育て・定住・移住等について、うるま市内に居住する15歳以上の市民4,000人を対象にアンケート調査を実施した。
- ・配布票数は無作為抽出によって決定し、調査方法は郵送配布・回収による。
- ・回収数は1,034票（うち有効票数1,032票）で回収率は25.9%（有効票回収率25.8%）であり、統計学上必要な標本数383票を上回った。

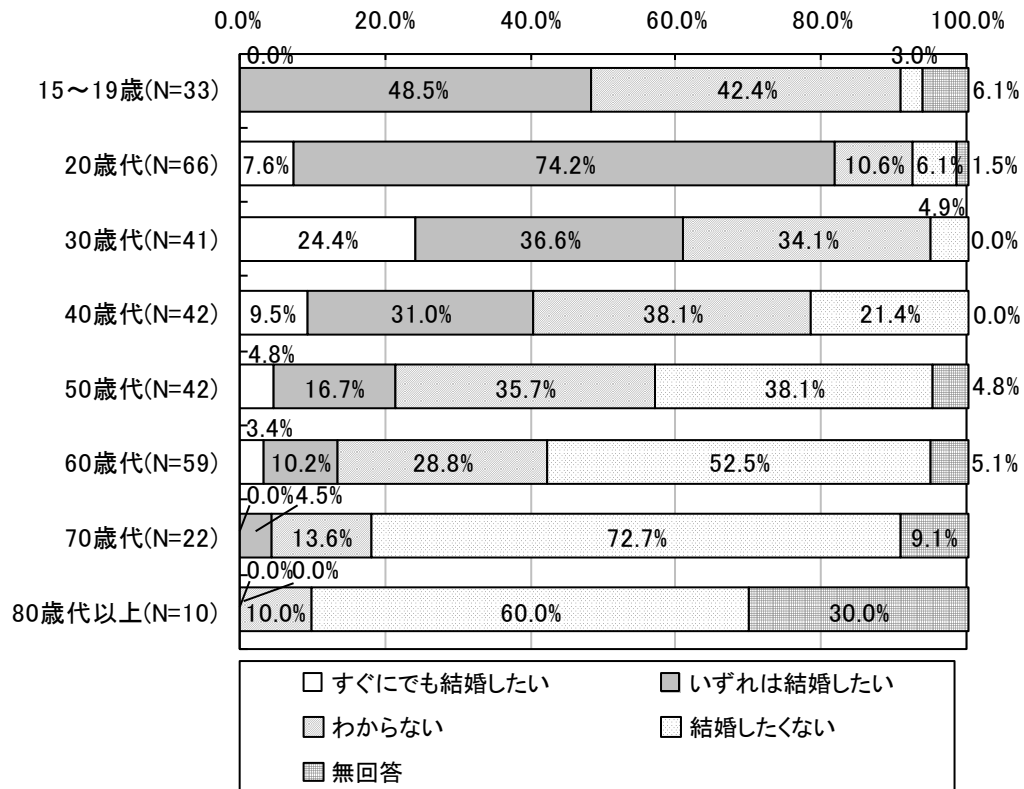
2 調査結果

○結婚意識について

問 13-1 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「いずれは結婚したい」が33.3%で最も多く、次いで「わからない」が28.3%、「結婚したくない」が27.1%などとなっています。



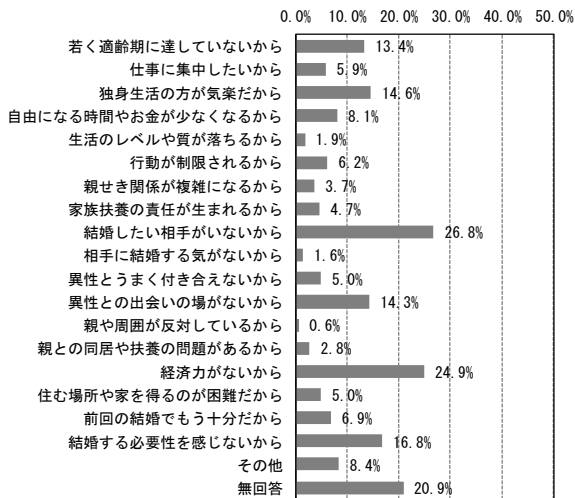


○結婚していない、したくない理由について

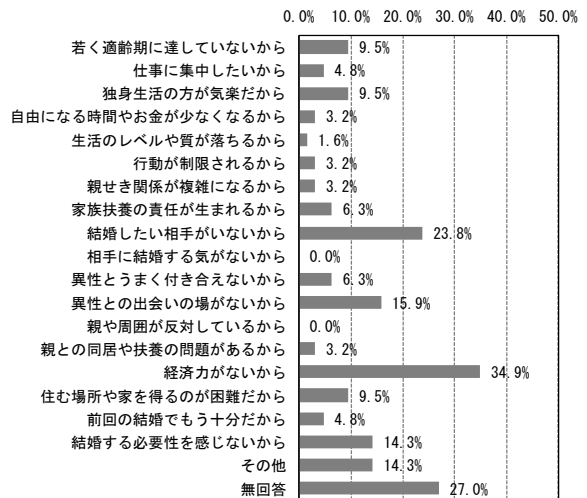
問 13-2 結婚していない、あるいは結婚したくない理由について、あてはまる番号3つまでに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「結婚したい相手がいないから」が27.1%で最も多く、次いで「経済力がないから」が24.9%、「結婚する必要性を感じないから」が16.8%などとなっています。
- ・島しょ地域を見ると、「経済力がないから」が34.9%で最も多く、他地域に比べて経済的理由をあげる人の割合が高い結果となっています。

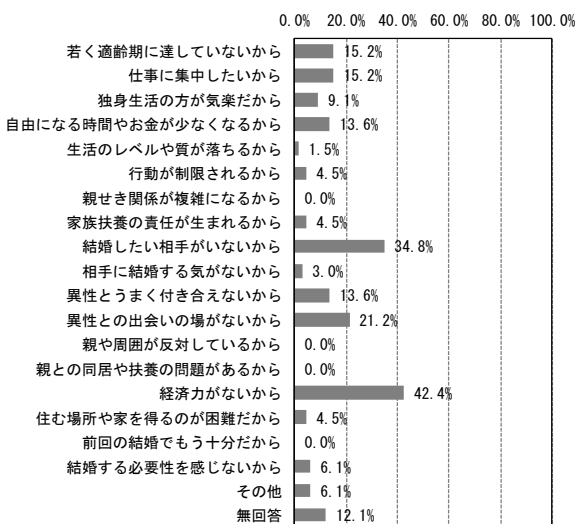
①市全体 (N=321)



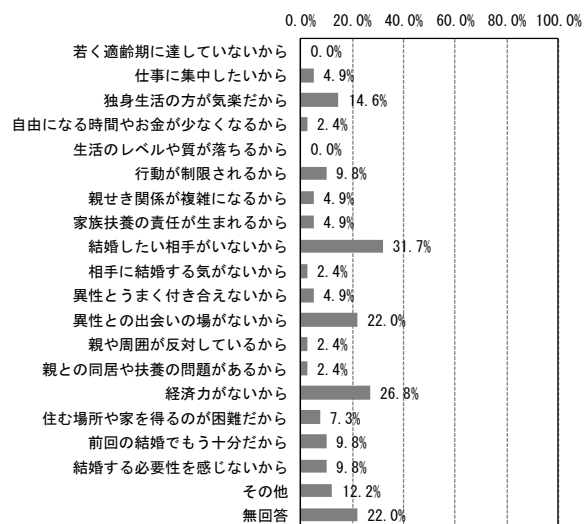
⑥島しょ地域 (N=63)



20歳代 (N=66)



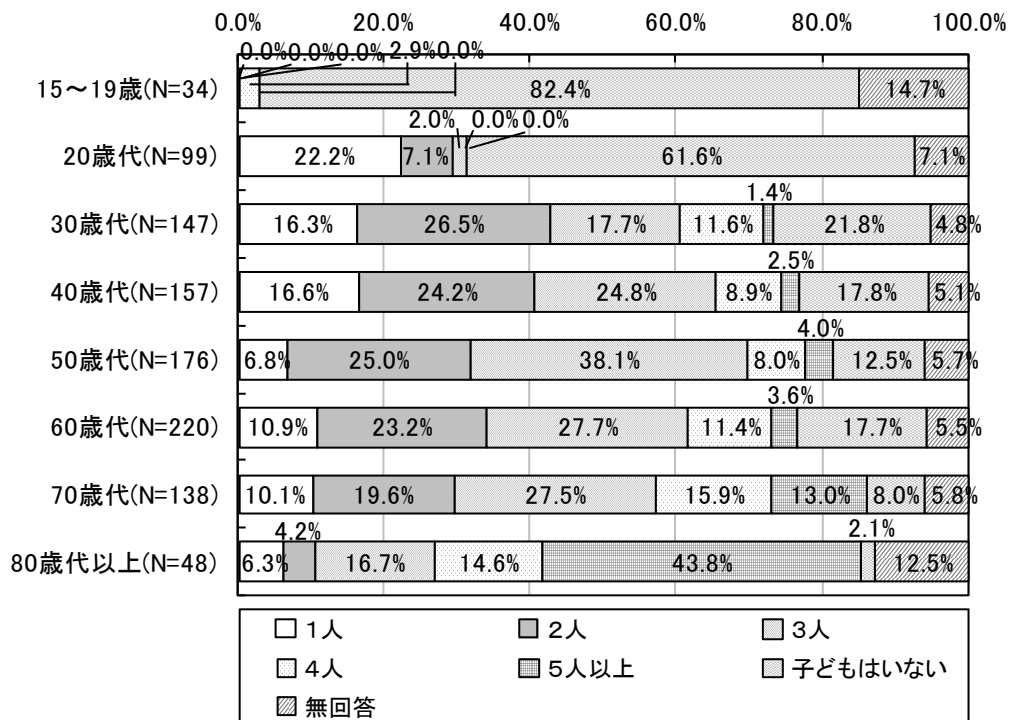
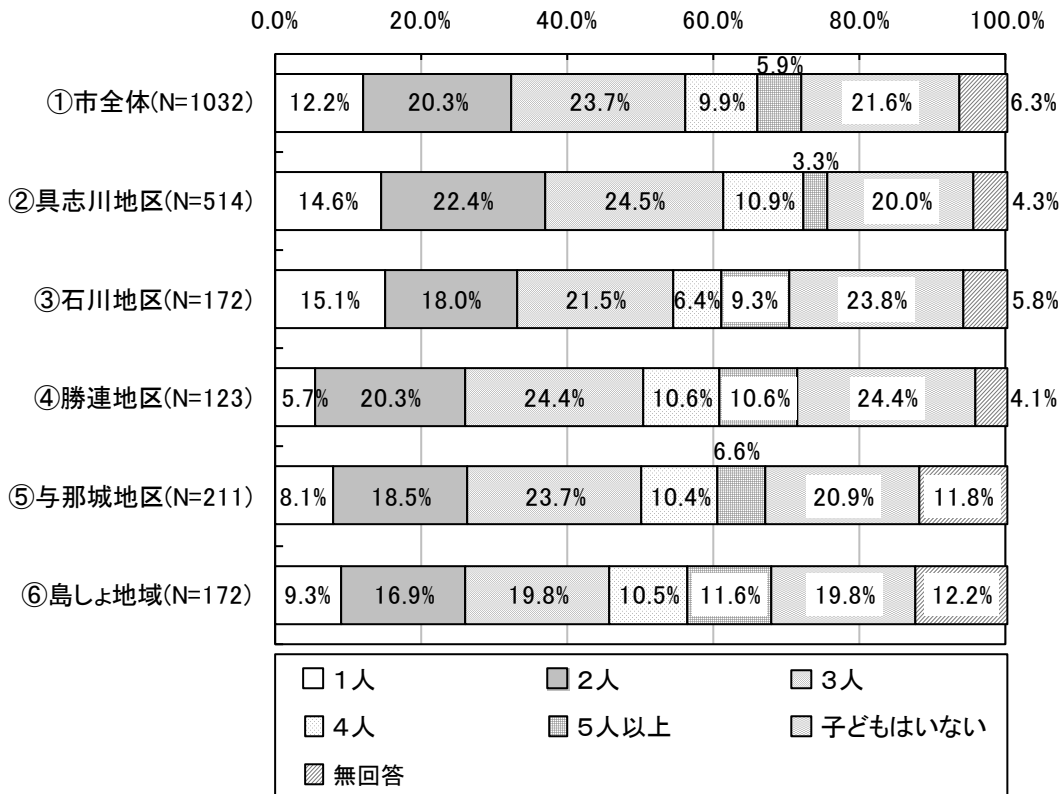
30歳代 (N=41)



○現状の子ども数について

問 16 あなたのお子さんは何人ですか。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

- ・現状の子ども数は、市全体で「3人」が 23.7%で最も多く、「子どもはいない」が 21.6%、「2人」が 20.3%となっています。

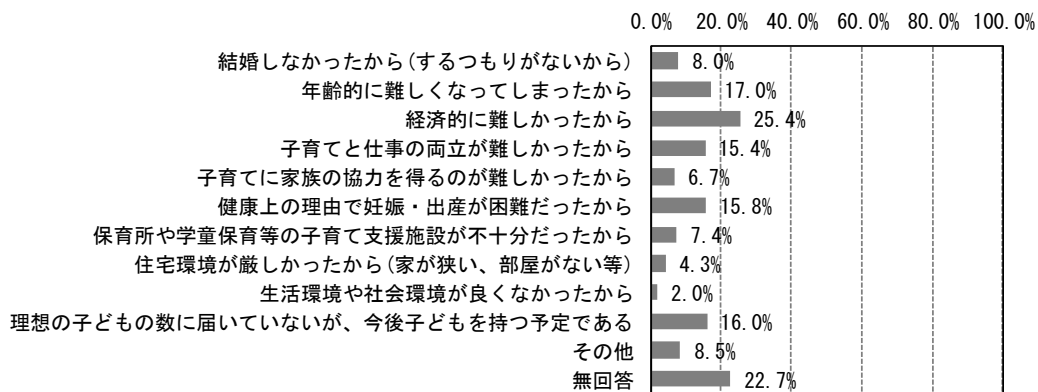


○理想の子どもの数について

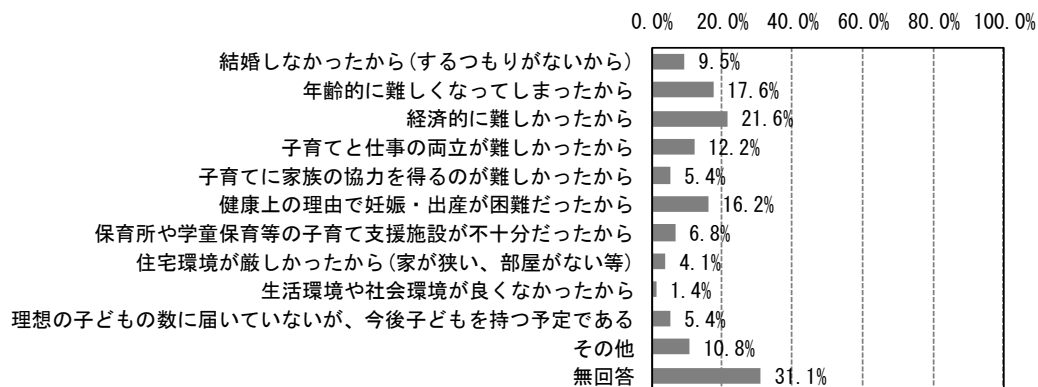
問 18 問 17 の【理想の子どもの数】よりも問 16 の【現状の子どもの数】が少ない方にお聞きします。少なかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「経済的に難しかったから」が 25.4%で最も多く、次いで「年齢的に難しくなってしまったから」が 17.0%、「子育てと仕事の両立が難しかったから」が 15.4%などとなっています。

①市全体 (N=564)



⑥島しょ地域 (N=74)



○子育て環境の評価について

問 19 うるま市の子育て環境についてお聞きします。次の(1)～(17)の項目ごとに、あなたがどのように思うか、あてはまる番号1つに○を付けてください。

- ・子育て環境の整備及び充実度に対する評価で良い評価と悪い評価の差が大きいものについて見ると、良い評価の割合が高いものは、医療機関が充実、治安が良く安全・安心なまち、自然環境が豊かで子どもをのびのび育てられる、日常生活の買い物が便利、自家用車での生活が便利、などがあげられます。一方、悪い評価が高いものとして、保育所や幼稚園の整備、子育てに対する経済的な支援、子育てと仕事の両立、地域での子どもの見守りや子育て環境、休日などに親子で楽しめる場所、徒歩での生活の利便性、バスの利便性、などがあげられます。
- ・この中で、市全体と島しょ地域で全く逆の評価としては、日常生活の買い物があげられ、島しょ地域では悪い評価が高くなっています。また、市全体と比べ島しょ地域で特に評価が悪いものとして、バスの利便性があげられます。

		1	2	3	4	5	6	全体
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い	無回答	
(1) 保育所や幼稚園の数は整っており、子どもを預けやすい	市全体	4.3%	16.0%	14.7%	22.2%	25.2%	17.6%	100.0%
	島しょ地域	4.7%	11.6%	11.6%	15.1%	20.9%	36.0%	100.0%
(2) 保育サービスが充実しており、安心して子どもを預けられる	市全体	4.0%	19.8%	15.7%	14.6%	27.6%	18.3%	100.0%
	島しょ地域	4.7%	11.0%	14.0%	10.5%	22.7%	37.2%	100.0%
(3) 子育てに関する経済的な支援が充実している	市全体	2.5%	11.3%	18.0%	23.9%	24.9%	19.3%	100.0%
	島しょ地域	1.7%	7.6%	13.4%	21.5%	17.4%	38.4%	100.0%
(4) 医療機関が充実している	市全体	11.6%	32.5%	15.8%	11.5%	10.9%	17.7%	100.0%
	島しょ地域	4.7%	21.5%	16.3%	14.5%	7.6%	35.5%	100.0%
(5) 教育環境が充実している	市全体	5.6%	25.1%	19.2%	15.1%	16.4%	18.6%	100.0%
	島しょ地域	7.0%	14.5%	17.4%	12.8%	11.6%	36.6%	100.0%
(6) 子育てと仕事の両立がしやすい	市全体	1.6%	13.5%	20.4%	24.8%	21.2%	18.5%	100.0%
	島しょ地域	1.2%	9.3%	17.4%	22.1%	12.2%	37.8%	100.0%
(7) 地域で子どもを見守る、また育てる環境がある	市全体	4.0%	19.5%	19.6%	18.2%	20.5%	18.2%	100.0%
	島しょ地域	7.6%	20.9%	14.5%	9.3%	11.6%	36.0%	100.0%
(8) いじめが見られず、安心して子どもを育てられる	市全体	1.6%	16.3%	19.2%	17.1%	27.1%	18.7%	100.0%
	島しょ地域	2.9%	19.2%	12.2%	9.3%	19.2%	37.2%	100.0%
(9) 治安が良く、安全・安心なまちである	市全体	8.3%	33.1%	18.8%	9.7%	11.2%	18.8%	100.0%
	島しょ地域	12.8%	23.3%	12.2%	6.4%	8.1%	37.2%	100.0%
(10) 自然環境が豊かで、子どもをのびのびと育てられる	市全体	9.5%	32.9%	19.1%	8.9%	11.3%	18.2%	100.0%
	島しょ地域	18.0%	26.2%	9.3%	4.1%	7.6%	34.9%	100.0%

(注) 網掛け部分は、評価が高い、または良い評価と悪い評価の差異の大きな項目

		1	2	3	4	5	6	全体
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い	無回答	
(11) 公園などが多く、子どもがのびのびと遊べる	市全体	6.4%	24.6%	23.2%	18.1%	9.4%	18.3%	100.0%
	島しょ地域	5.8%	18.6%	16.9%	15.1%	7.6%	36.0%	100.0%
(12) 居住空間が広く、余裕をもって子育てできる	市全体	5.1%	24.2%	19.8%	16.4%	15.3%	19.2%	100.0%
	島しょ地域	5.8%	17.4%	16.3%	12.8%	10.5%	37.2%	100.0%
(13) 休日などに親子で楽しめる場所が多い	市全体	3.6%	17.3%	25.4%	23.1%	11.9%	18.7%	100.0%
	島しょ地域	2.9%	14.0%	18.6%	17.4%	9.9%	37.2%	100.0%
(14) 日常生活の買い物が便利である	市全体	25.7%	35.2%	8.2%	9.1%	4.1%	17.7%	100.0%
	島しょ地域	4.1%	11.6%	16.9%	27.9%	2.3%	37.2%	100.0%
(15) 徒歩での生活が便利である	市全体	9.8%	20.3%	21.6%	23.3%	7.1%	17.9%	100.0%
	島しょ地域	6.4%	12.2%	12.8%	26.7%	5.2%	36.6%	100.0%
(16) 自家用車での生活が便利である	市全体	29.7%	36.8%	5.6%	4.1%	5.3%	18.4%	100.0%
	島しょ地域	14.0%	25.6%	7.6%	10.5%	4.7%	37.8%	100.0%
(17) バスの利便性が良い	市全体	6.7%	16.8%	16.0%	29.5%	13.5%	17.6%	100.0%
	島しょ地域	4.1%	7.0%	14.0%	32.6%	5.2%	37.2%	100.0%

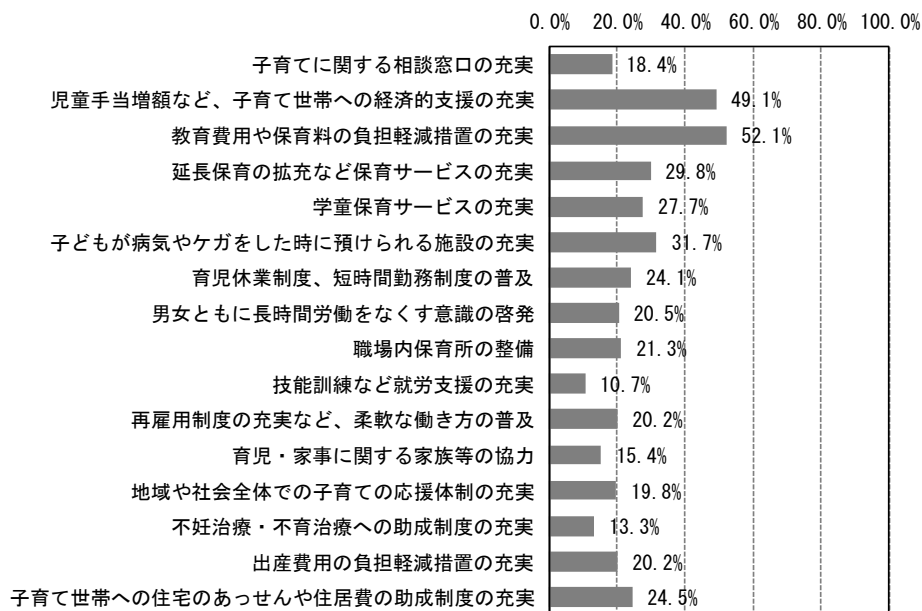
(注) 網掛け部分は、評価が高い、または良い評価と悪い評価の差異の大きな項目

○希望通りに子どもを持てるための取り組みについて

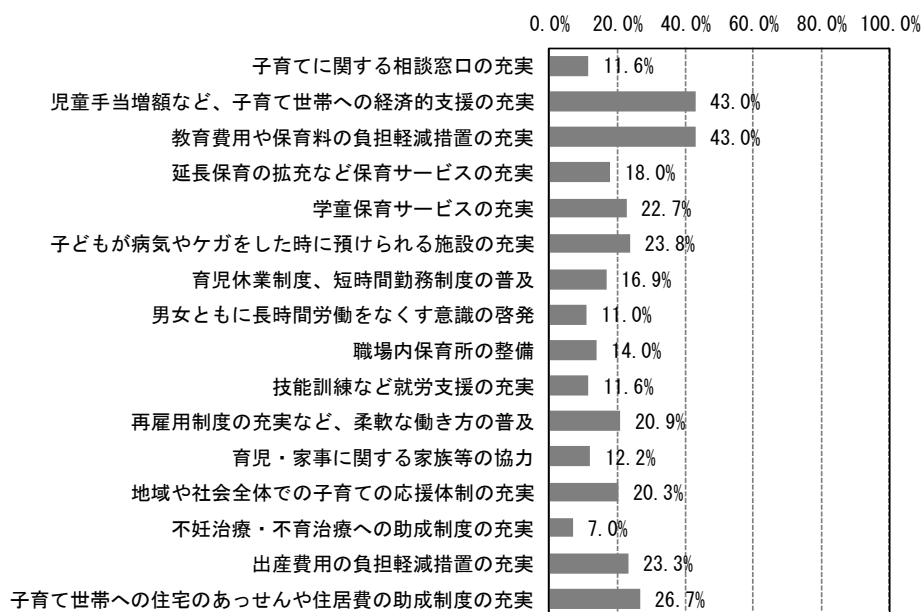
問 20 希望通りに子どもを持てるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。最も必要と思われるもの5つまでを選び番号に○を付けてください。

- ・市全体で見ると「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」が52.1%で最も多く、次いで「児童手当増額など、子育て世帯への経済的支援の充実」が49.1%、「子どもが病気やケガをした時に預けられる施設の充実」が31.7%などとなっています。
- ・島しょ地域を見ると、「児童手当増額など、子育て世帯への経済的支援の充実」、「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」が最も多く、同率で43.0%、「子育て世帯への住宅のあっせんや住居費の助成制度の充実」が26.7%などとなっており、いずれも妊娠・出産・子育てに関わる直接的な経済支援が望まれていることがうかがえます。

①市全体 (N=1032)



⑥島しょ地域 (N=172)

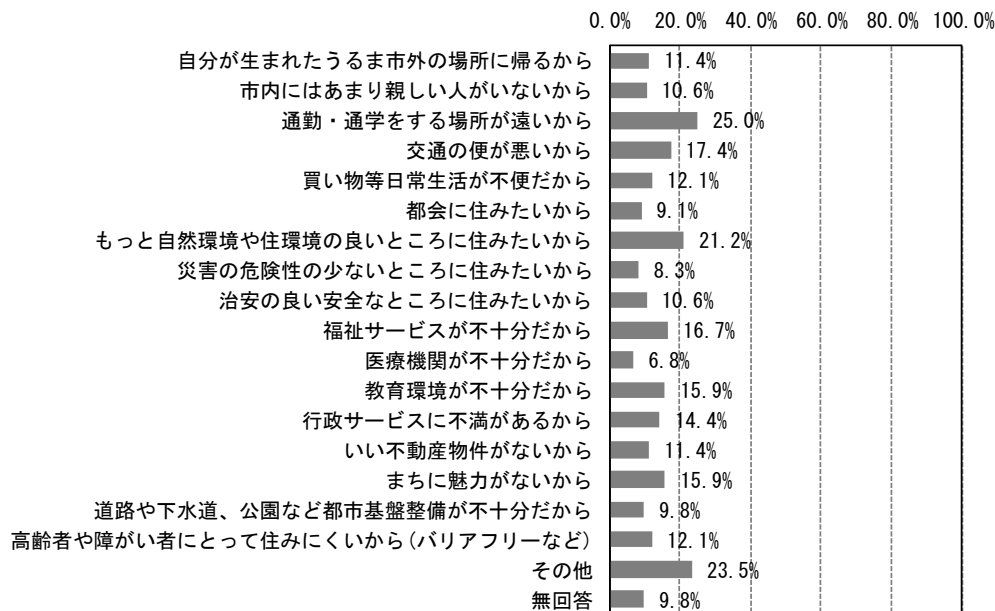


○転居・転出の理由について

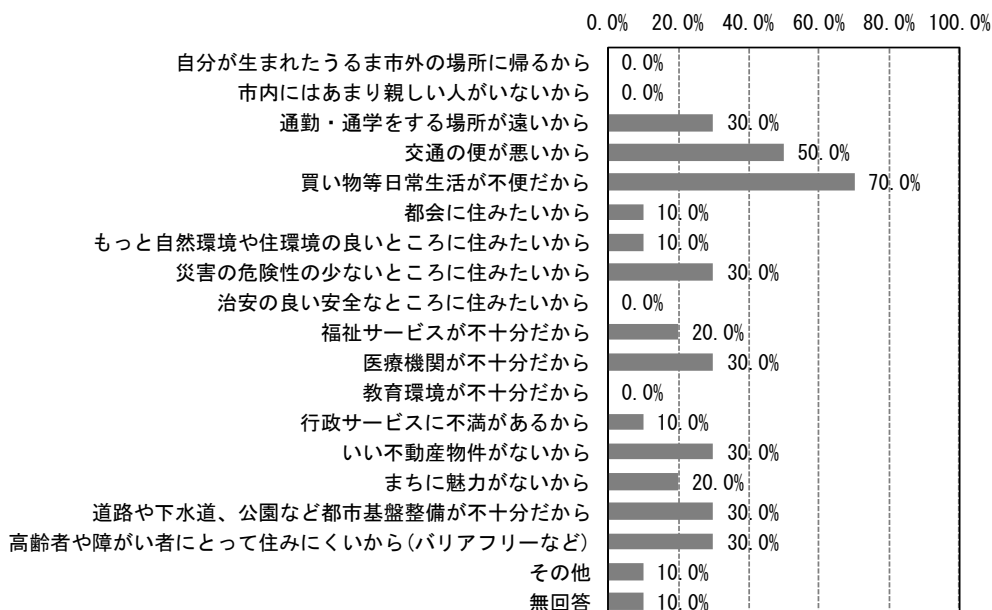
問 21-3 うるま市外へ転出したいと思う理由について、あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「通勤・通学をする場所が遠いから」が 25.0%で最も多く、次いで「その他」が 23.5%、「もっと自然環境や住環境の良いところに住みたいから」が 21.2%となっています。
- ・島しょ地域では「買い物等日常生活が不便だから」、「交通の便が悪いから」が高い割合を占めています。
- ・また、その他の内容については、「市外の地域を経験してみたいから」、「台風のとくに必ず停電して不便だから」、「子供が徒歩で学校に通える範囲に住みたいから」等が主な理由としてあげられています。

①市全体 (N=132)



⑥島しょ地域 (N=10)

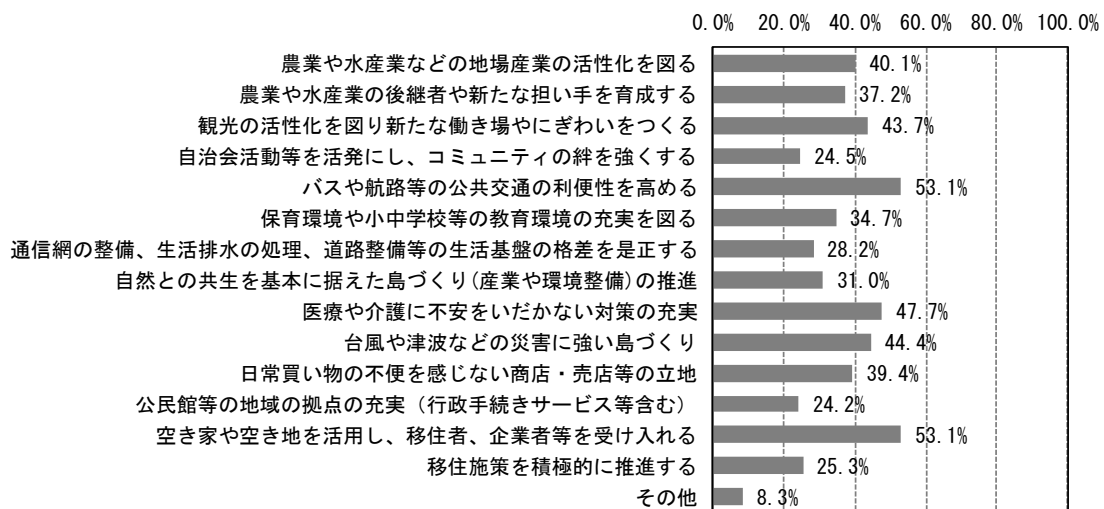


○島しょ地域の活性化及び定住方策について

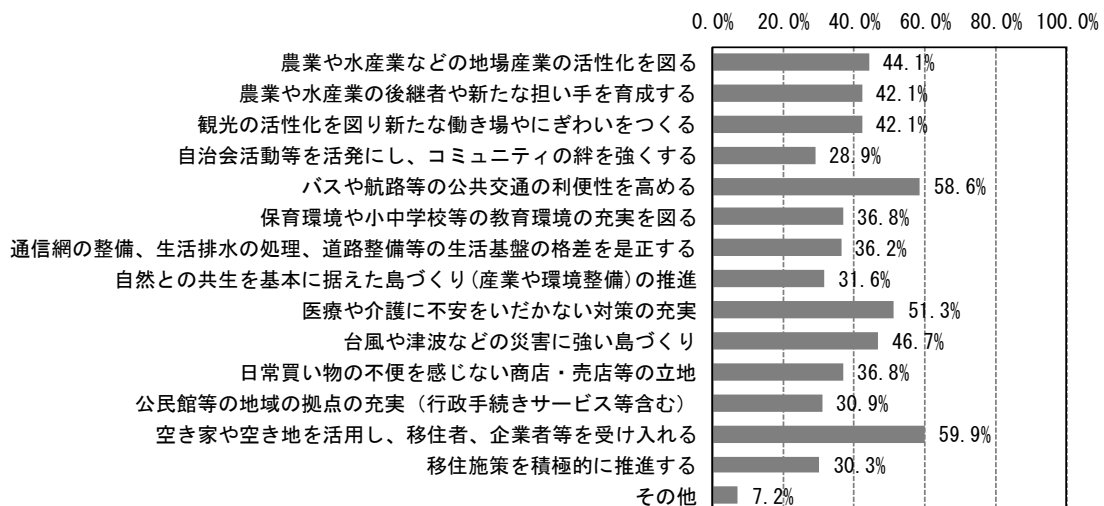
問 22 島しょ地域（津堅島、浜比嘉島、平安座島、宮城島、伊計島）にお住まいの方、かつて住まわれていた方、新たに住みたいと思う方についてお尋ねします。島しょ地域の活性化や定住者や移住者を増やすために必要なことは何だと思われるですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「バスや航路等の公共交通の利便性を高める」、「空き家や空き地を活用し、移住者、企業者等を受け入れる」が最も多く 53.1%、次いで「医療や介護に不安をいだかない対策の充実」が 47.7%などとなっています。
- ・住む場所の提供や、公共交通の利便性を高めるといった日常生活の環境改善が求められていると考えられます。

①市全体 (N=277)



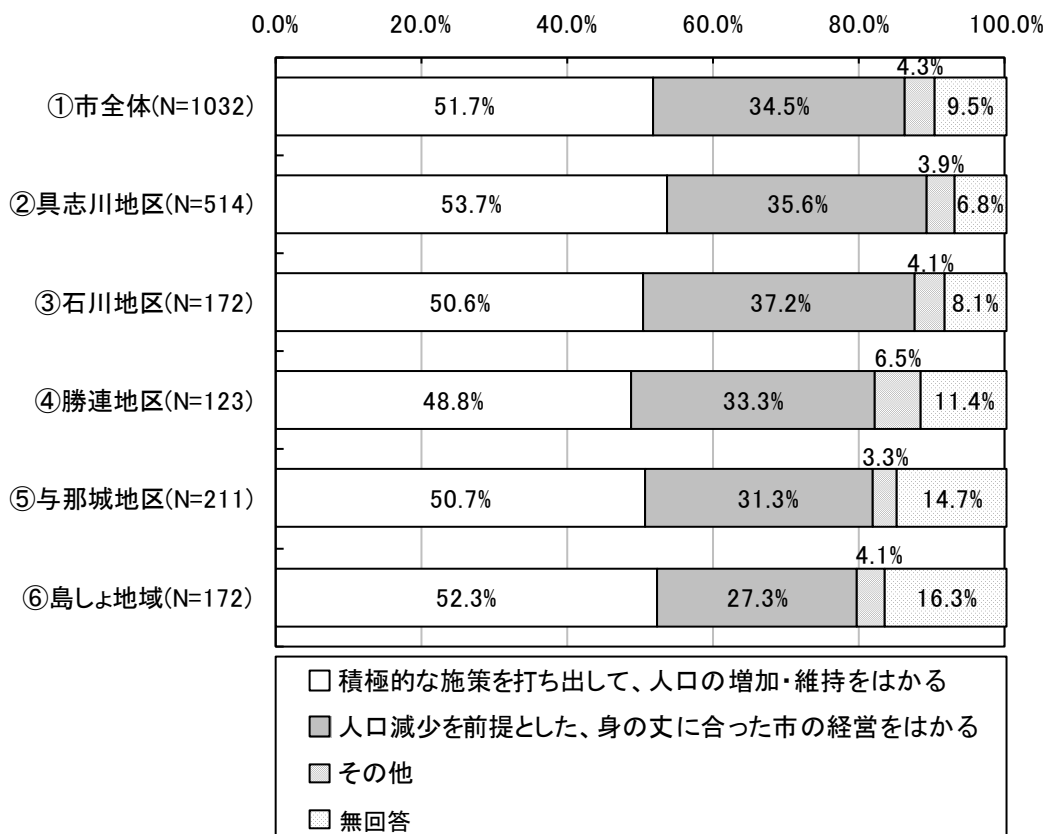
⑥島しょ地域 (N=152)

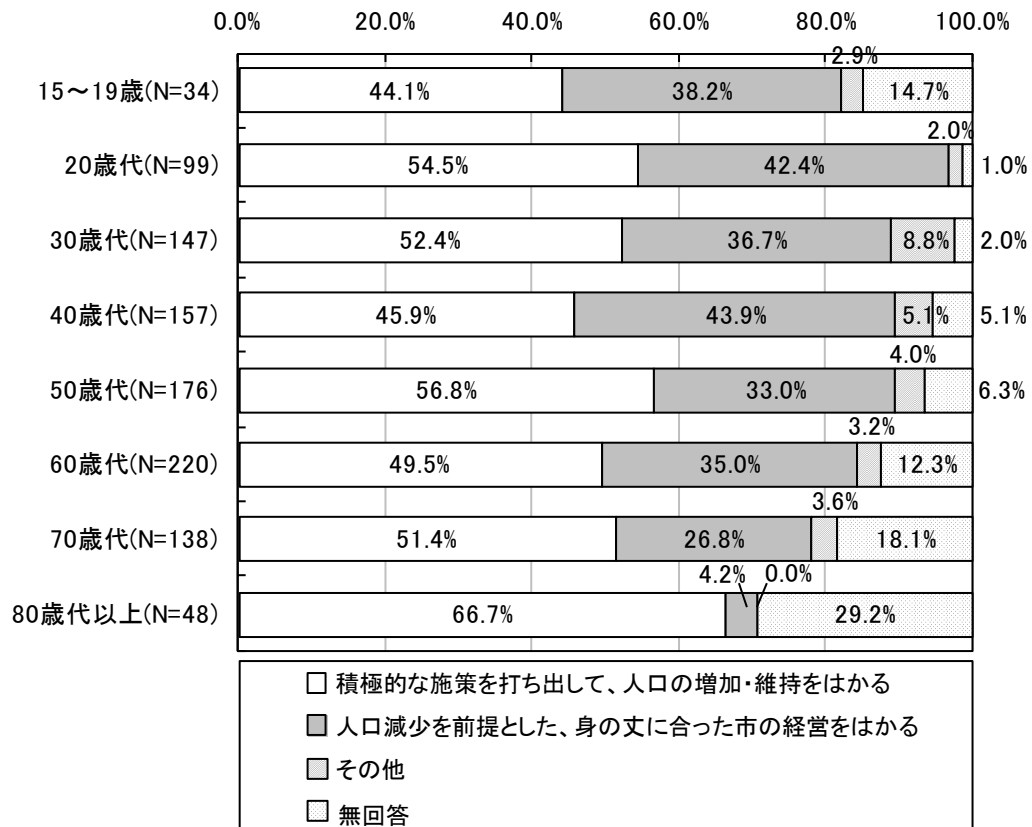


○人口減少に対する取組姿勢について

問 23 うるま市の現在の人口は微増傾向にありますが、将来的には減少が予測されます。また、現時点において既に島しょ地域の人口は年々減少しています。人口が減ると社会保障費の増大や税収の減による行政サービスの有料化などが懸念されます。このような状況を踏まえ、うるま市としての今後の取り組み姿勢についてどうすべきとあなたは思いますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「積極的な施策を打ち出して、人口の増加・維持をはかる」が最も多く 51.7%で、「人口減少を前提とした、身の丈に合った市の経営をはかる」は 34.5%となっており、半数の人が積極的に人口増加施策を望んでいることがうかがえます。
- ・年齢別に見ると、いずれの年代も「積極的な施策を打ち出して、人口の増加・維持をはかる」の回答が多いものの、80歳代以上以外の年代は「人口減少を前提とした、身の丈に合った市の経営をはかる」も3～4割います。また「その他」の主な回答として「両方大事」との意見があることから、どちらの取り組み姿勢も民意として甲乙つけがたい状況と言えます。

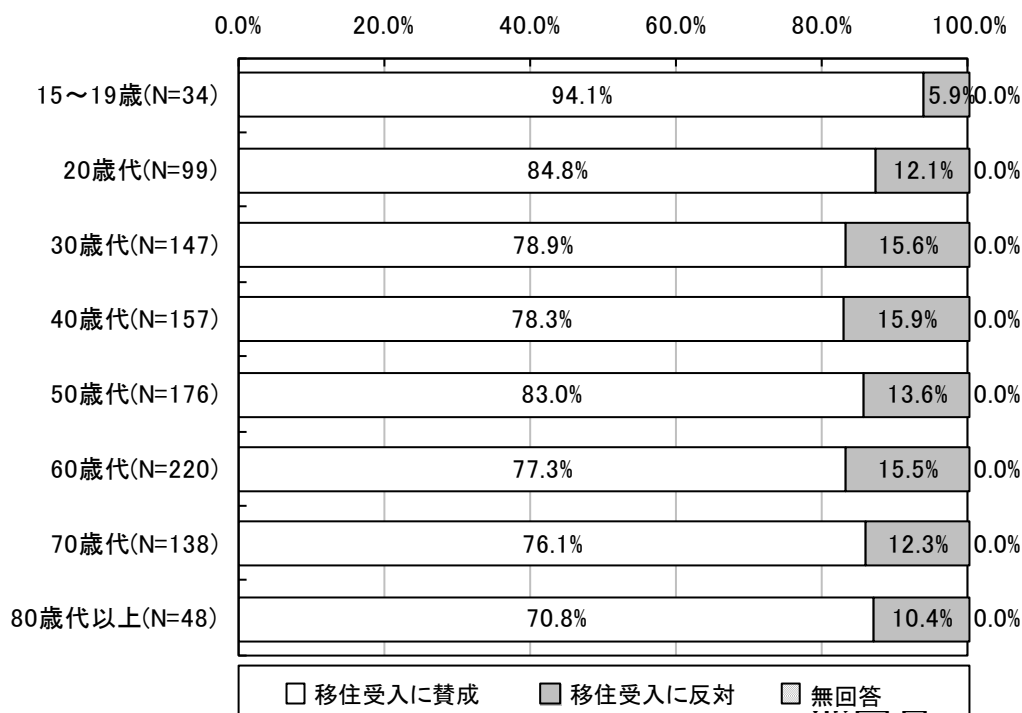
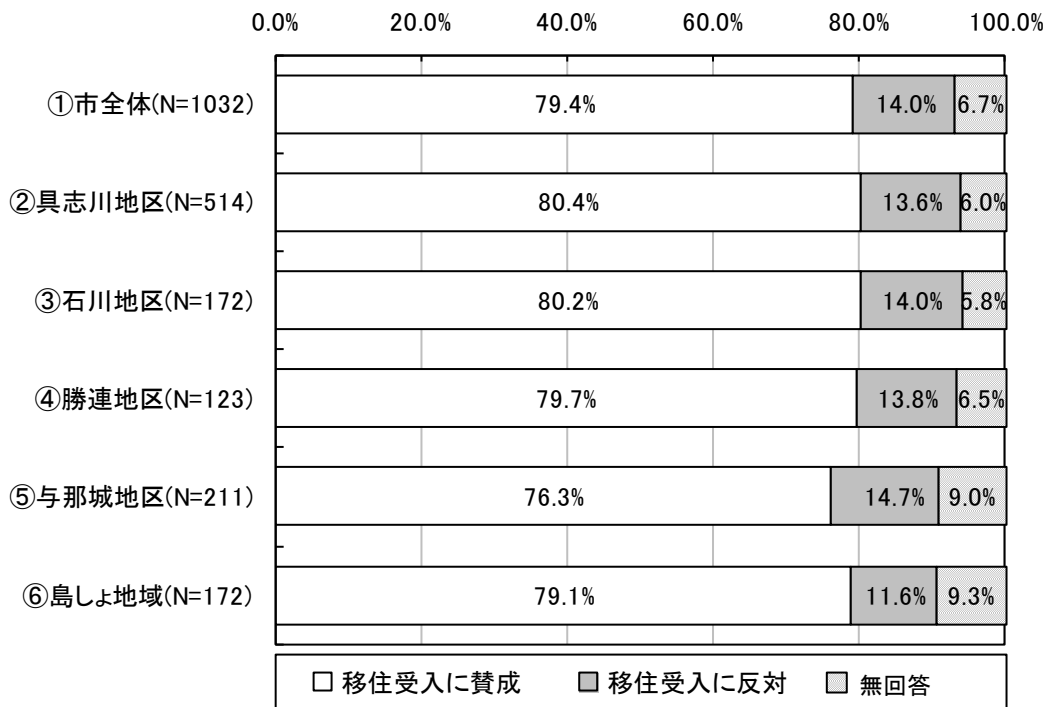




○移住施策の賛否について

問 24 人口増加の方策として、市外・県外等からの移住の促進が考えられますが、このことの賛否について、あなたはどのように思われますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- ・市全体で見ると「移住受入に賛成」が79.4%、島しょ地域でも79.1%となっており、多くの市民が移住の受入に積極的であると言えます。

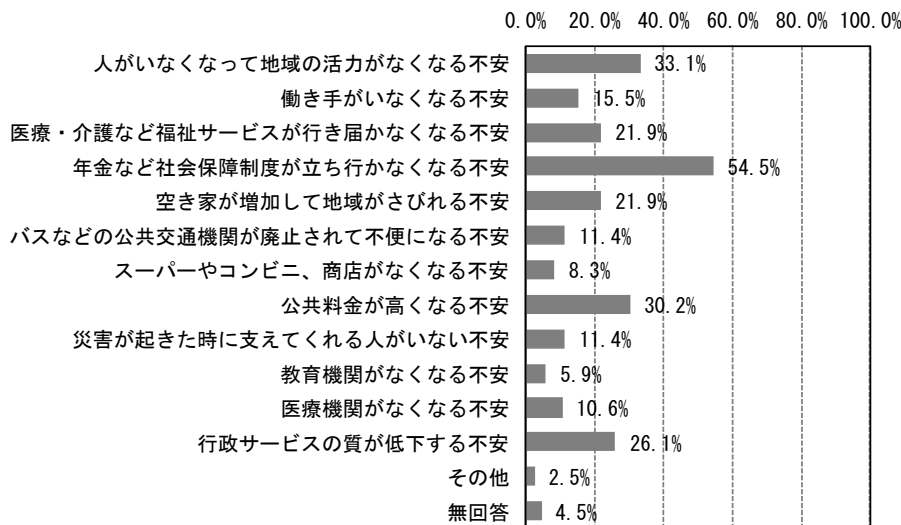


○人口減少や高齢化に対する不安事項について

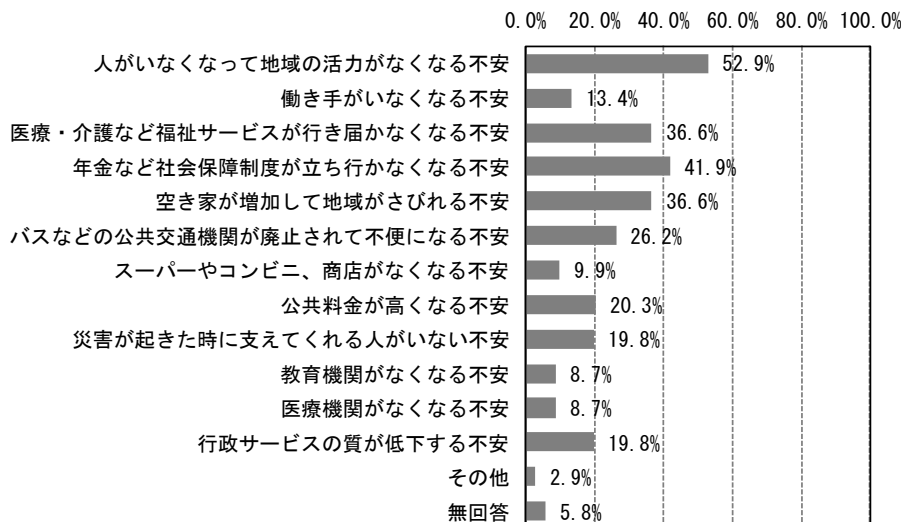
問 24 今後、人口減少や高齢化といった人口問題に対し、あなたはどのような不安がありますか。あてはまる番号3つまでに○を付けてください。

- ・市全体を見ると、「年金など社会保障制度が立ち行かなくなる不安」が 54.5%で最も多く、次いで「人がいなくなって地域の活力がなくなる不安」が 33.1%、「公共料金が高くなる不安」が 30.2%などとなっています。
- ・島しょ地域では、「人がいなくなって地域の活力がなくなる不安」が 52.9%、「年金など社会保障制度が立ち行かなくなる不安」が 41.9%、「医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる不安」、「空き家が増加して地域がさびれる不安」が 36.6%などとなっています。
- ・市全体に比べて島しょ地域で 10 ポイント以上高かった項目は、「人がいなくなって地域の活力がなくなる不安」（市全体 33.1%、島しょ地域 52.9%）、「医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる不安」（市全体 21.9%、島しょ地域 36.6%）、「空き家が増加して地域がさびれる不安」（市全体 21.9%、島しょ地域 36.6%）、「バスなどの公共交通機関が廃止されて不便になる不安」（市全体 11.4%、島しょ地域 26.2%）で、島しょ地域では人口減少によって引き起こされる不安がより大きいことがうかがえます。

①市全体 (N=1032)



⑥島しょ地域 (N=172)

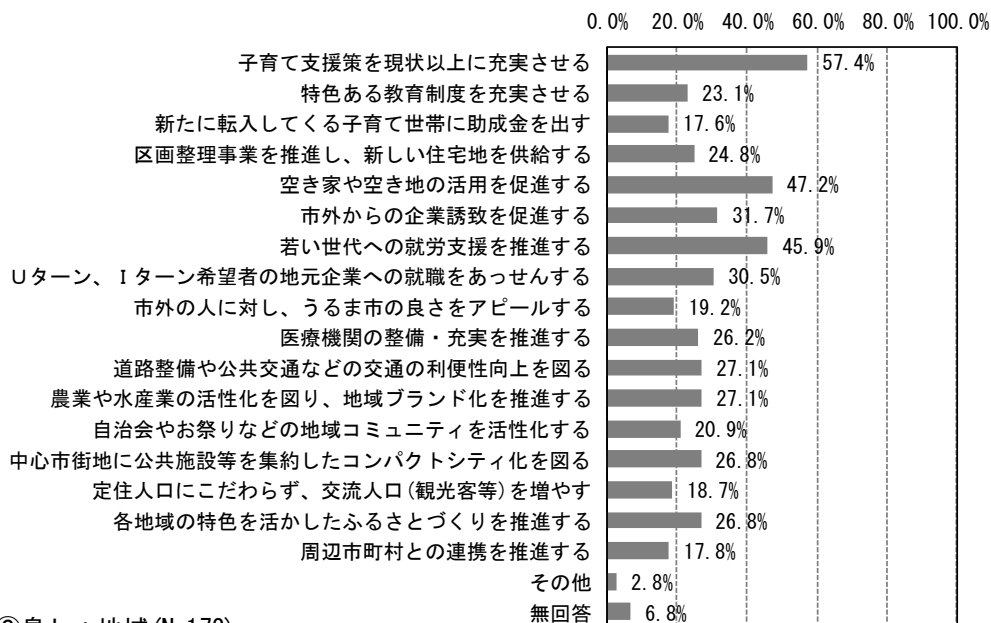


○人口問題への対策等について

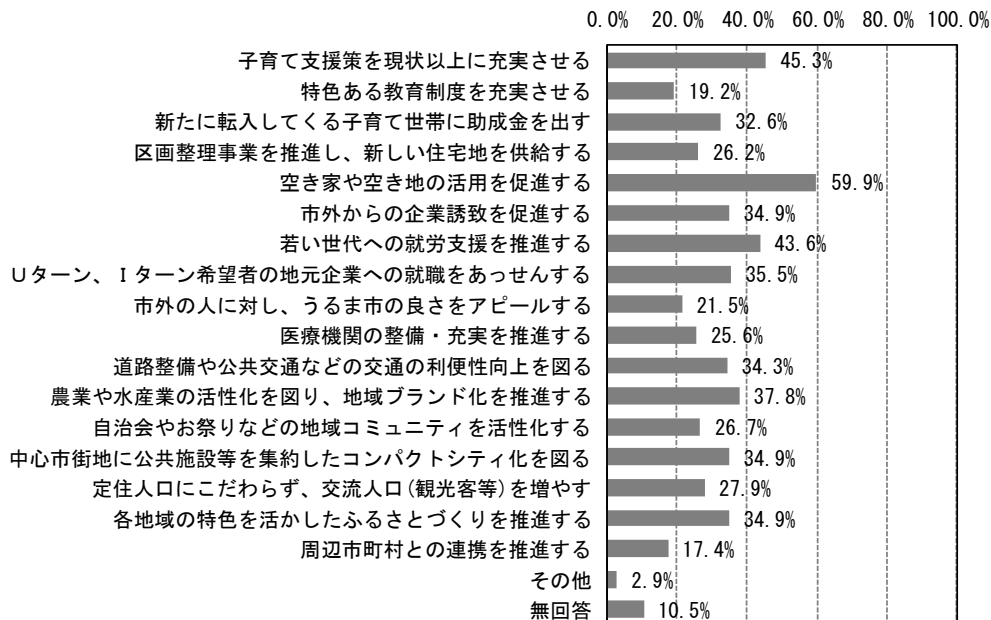
問 26 人口問題に対応していくためには、こういった取り組みが必要と思いますか。
あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- ・市全体の結果は、「子育て支援策を現状以上に充実させる」が 57.4%で最も多く、次いで「空き家や空き地の活用を促進する」が 47.2%、「若い世代への就労支援を推進する」が 45.9%などとなっており、子育て支援、住む場所の提供、雇用の拡大があげられています。
- ・島しょ地域の結果は、「空き家や空き地の活用を促進する」が 59.9%で最も多く、次いで「子育て支援策を現状以上に充実させる」が 50.0%、「農業や水産業の活性化を図り、地域ブランド化を推進する」が 45.3%などとなっており、市全体と同様の傾向に加えて、農業や水産業といった第 1 次産業の活性化が人口問題に対応するために必要であると感じていることがうかがえます。

①市全体 (N=1032)



⑥島しょ地域 (N=172)



○自由意見について

1 若い世代の結婚・出産・子育てについて

1-1 結婚支援

- ・結婚支援相談所を設け、出会いの場確保に努める。

1-2 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

- ・男女問わず、不妊治療への助成等、支援を充実させてほしい。
- ・医療費の自己負担の軽減。
- ・低所得世帯の子育て支援。
- ・若い子育て世帯にもっと子育て支援制度を手厚くしてほしい。若くて年収が低くても、子どもを産みやすい環境が整えられていれば、自然と子供の数は増える。
- ・子どもを預かってくれるシルバー人材センターなどの仕組みがあってほしい。
- ・全ての子どもたちが公立認可保育所へ入園できる環境づくりを進めて欲しい。

1-3 学校教育の充実

- ・子どもを高卒ではなく大学や専門学校には行かせたいので学費の面で不安があり、あと1人子どもを産みたかったが経済的に無理と考えている。
- ・教育レベルを上げてほしい。塾へ行くのが普通になっているが、学校できちんと教えてほしい。
- ・沖縄の学力が劣るのは教える側にあると思う。優秀な教師を県外人材から連れてきてほしい。
- ・中学校が荒れているため登校しない生徒もいるそうだが、子どもたちに目を行き届かせ、適切な教育が受けられるように教育委員会には力を注いでほしい。

1-4 仕事と生活の調和の実現

- ・保育所の空きが無いため、仕事復帰が困難であった。早めの対応、認可保育園へ入所できなかった時のその後のケアをもっと対応してほしい。
- ・フルタイム、パートタイムに限らず働いていれば保育所が必要なことに変わりない。保育所へ入所できない点で他市への移住を検討している。
- ・放課後の子どもの居場所づくり。
- ・市がどんなに子育て支援に取り組んだとしても、夫（父親）が仕事を理由に子育てに参加できなければ妻（母親）にしわ寄せがくる。
- ・結婚・出産・子育てには安定した生活がベースとなるため、就労支援と職場環境の充実が必須。

2 安定した雇用の場の創出

2-1 商工業の活性化支援

- ・大学や専門学校へ進学した人たちが地元に戻ってきたいと思えるような働き場（企業誘致）の確保。
- ・結婚を考えるには安定的な収入が必要であるため、就職支援が最優先。

2-2 農林水産業の活性化と高度化

- ・農業生活者人口の増加を図る。
- ・農業や水産業の活性化と後継者の新たな担い手を育成する。
- ・津堅において、公共施設等（ターミナル）を一般市民に提供して地元の物産（野菜・魚介類・もずくなど）を置き、島の活性化につなげたい。

2-3 観光関連産業の活性化

- ・軍用地を開放し（ホワイトビーチ）観光化を図る（大型船等）島しょの架橋の充実（各島々へループにて架ける）観光客の流れを図る。
- ・島を自然環境だけでなく公園、道路、民家、空き家を含めてもっとクリーンアップし、観光価

値を高める。

3 本市への新しい人の流れをつくる

3-1 移住・定住の促進

- ・うるま市は那覇市、沖縄市と同様の医療、福祉サービスが充実していると思う。それらの充実している制度を広報等で積極的に発信し、移住者へのアピールに力を入れる。
- ・浜比嘉島など島しょ地域は海も星も朝日もとてもきれいで、那覇市や沖縄市には無い場所である。うるま市の良さを発信していきたい。
- ・大家族が借りやすい公営住宅、障がい者が借りられるバリアフリー住宅など、居住できるスペースを確保・整備する。
- ・子育てに適した安くて広い住宅が無い。空き家等を低家賃で貸してほしい。
- ・与那城や屋慶名旧部落等は、道路状況が悪く住宅を新築できないために若者が市外に転出してしまっている。空き家や空き地対策に取り組み、若者の流出に歯止めをかけてほしい。
- ・若い人への就職体験や企業説明会などをうるま市内で行い、参加しやすくしてはどうか。

3-2 企業の地方拠点化と就労拡大

- ・一部上場企業へ土地を安く提供して労働者を増やし、本土並みの給与をもらえるようにする。本土への出稼ぎが無くなって安定し、子育てが安心してできるようになる。

3-3 高等教育機関の充実

- ・無料の英会話スクールやパソコンスクールの設置。

4 快適で安心して暮らせるまち

4-1 利便性と快適性向上の生活基盤の整備

- ・移住に取り組むにあたり、道路整備はきちんと行う必要がある。
- ・市内にコミュニティバスを導入して買い物に行きやすいような環境づくりが必要。
- ・道路、排水路等の生活環境整備が必要。

4-2 生活サービス機能の充実

- ・町の中心に広場と市場を設置し、人が常に集まれる場所をつくる（昔の安慶名のように日常生活用品を売り買いする賑わいのある場の復活）
- ・学校、病院、買い物場所、子どもも遊べる公園等が充実していれば市外県外からの移住者が増えると思う。施設整備は身近なもの（与那城庁舎など）の再利用が良いと思う。

4-3 生涯現役の健康長寿のまちづくり

- ・リタイヤ後の元気な60歳以上の高齢者の雇用又は有償ボランティア制度は地域活性、医療費の抑制などに効果があるのでは。民営との協働で市のバックアップもあれば浸透しやすいと考える。
- ・若い世代への支援も大切だが、今後は40代～60代の世代が住みやすい市にならないと子供世代のUターンはないと思う。

4-4 安全・安心なまちづくり

- ・災害時避難場所の確保、誘導する人材の確保。身近に緊急避難場所が無く高齢者が多い地域のため避難も現実的に困難となる。宮森小学校校舎の高層化あるいは自治会公民館の高層化の検討をお願いしたい。

4-5 誇りと共生のコミュニティづくり

- ・自治会はもっと若い世代に居場所をつくり、地域一体となってイベントを行ってほしい。
- ・区独自の子育ての取り組みが足りないと思う。どこの区にも教育者や様々な技能を持った方たちが沢山おられるので夢ではないと思う。